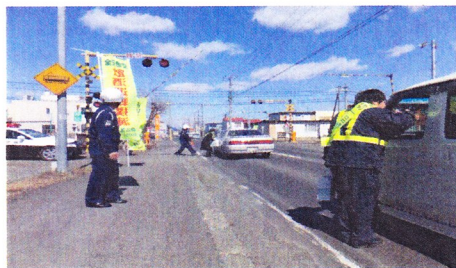


平成 29 年 4 月 3 日
ＪＲ北海道釧路支社

「春の踏切事故防止キャンペーン」を実施します！

ＪＲ北海道では、平成 29 年春の全国交通安全運動の実施にあわせ、踏切事故の防止を図るため 4 月 6 日から「春の踏切事故防止キャンペーン」を実施します。

キャンペーン期間中は、全道各地の駅や踏切で、「踏切手前での確実な一旦停止と安全確認」や「万が一踏切内に閉じ込められ、そのまま車を進めて、まず脱出」、「車が動かなくなった時には非常ボタンや車の発炎筒等で列車を止める」などの呼びかけを行います。また、これからの時期は、子供達の外遊びの機会が多くなることから、子供達の線路内立ち入りや置き石等の禁止の呼びかけを学校や幼稚園、地域の方々と協力して行います。



踏切事故防止キャンペーン啓発活動の様子

1 実施期間

平成 29 年 4 月 6 日（木）から 4 月 15 日（土）までの 10 日間

2 実施内容

◎踏切における安全通行の呼びかけ

- ・ 踏切・駅等でのリーフレット、ポケットティッシュ配布
- ・ 主要駅及び列車内での業務用放送での呼びかけ
- ・ 特急列車の客室内情報表示装置での呼びかけ
- ・ 関係機関、団体、自動車学校、企業等を訪問して呼びかけ
- ・ 小中学校・幼稚園等を訪問しポスター・リーフレット等の配布による呼びかけ
- ・ ラジオＣＭの放送

3 実施計画

帯広地区	A 号団地踏切	4 月 10 日（月）	11：00～11：45
釧路地区	木工場踏切	4 月 13 日（木）	10：30～11：00

<平成 28 年度の踏切事故>

踏切事故の発生件数は 2 件で、平成 27 年度より 7 件の減少となり、これは会社発足以来最小の記録となりました。しかし、2 件の踏切事故のうち 10 月の事故は、警報機が鳴っている踏切に進入した乗用車が列車と衝撃して 2 名の方が尊い命を落とされており、

このほかにも依然として悲惨な事故に繋がりがねない踏切の無理な通行が多数発生しており、列車の運転士が踏切に立ち往生している車を発見したり、非常ボタンを扱われたことを認め列車が急停止するなどとした件数が 308 件発生しました。また、警報機がなっている踏切を無理に通行したことが原因と考えられる遮断ボールの折損も多数発生しています。

お問い合わせ先 釧路支社技術 TEL. 0154-24-3105
釧路地区駅 TEL. 0154-25-2461
帯広地区駅 TEL. 0155-27-2179